



●VOL.51号 2022年12月25日 発行

八潮市長 大山しのぶ ニュースレター 風

■大山しのぶ事務所
埼玉県八潮市八潮2-18-8
パークアヴェニューK
TEL.048-994-6000
FAX.048-994-6001

■最新情報はホームページで
<http://www.s-oyama.jp/>

編集・発行／やしおママ倶楽部 〒340-0815 八潮市八潮2-18-8 Tel.048-994-6000

2022～2023へ 市政50周年、新庁舎、 新しい「八潮」へ

今年も振り返れば、全国的にもコロナに振り回された一年となりました。世界に目を向ければ、2月に起きたロシアによるウクライナ侵攻は国際秩序への重大な挑戦であり、新型コロナウイルスの大流行と相まって、エネルギー問題やサプライチェーンの問題等、重大な課題が浮き彫りとなりました。

また、1月にはトンガ沖の海底火山の噴火、3月には福島、宮城において震度6の地震が起こるなど自然災害にも見舞われました。被災された方々にお見舞いを申し上げ、復旧と復興を願ってやみません。

市民に一番近い行政の責任者、 その意識をもとに危機に対応する

このような新型コロナウイルスをはじめとする感染症や自然災害、国際環境などの危機は、緊急時という意味で同義です。これにどう対応すべきか。国と地方で役割の違いはありますが、データを収集し知見を用いて分析し対応する体制を構築した上で、正しい情報を迅速に伝達し共有することで皆さまの不安を払拭することが政治の役割であり責務です。危機感を煽るのではなく、いかに正しい情報を市民の皆さまにお伝えし、丁寧な説明ができるのか、市民の皆さまに一番に近い行政サービスを担う市政に身をおく者として責務を果たすべくさらに力を尽くしてまいります。

その上でこれまでのデータと科学的知見をもとにした正確な情報と、感染を防ぐ対策や感染後の体制の構築が急務であると感じています。八潮市においては、医療技術、医療体制を十分にその機能を活かすための対策へ向けてこれから医師会ともよく協議し、今後のコロナウイルスとインフルエンザの同時流行に備えた対応を早急に検討してまいります。そして、

子どもたちのワクチン接種の問題やシルバー世代のインフルエンザ対策をしっかりと進めてまいります。

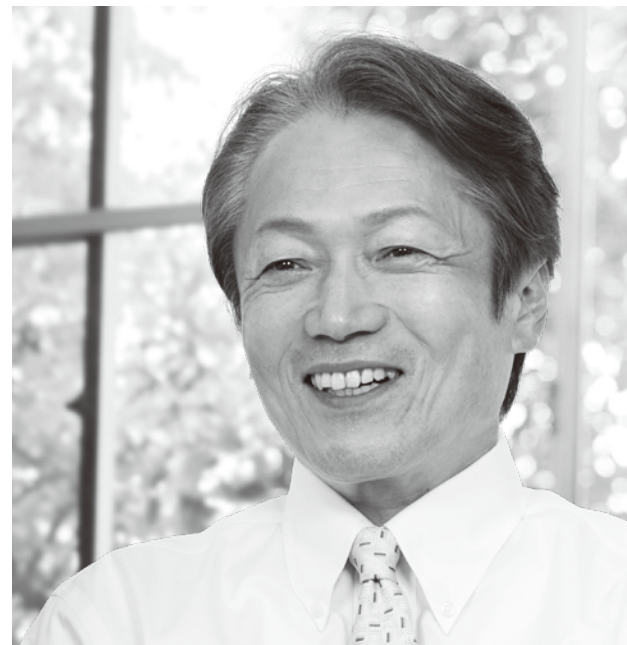
「住みやすさナンバー1」のシンボル、 2024年オープンの新庁舎…。

新庁舎は、市民の皆様が安心して暮らしていくためのインフラとしての新しい庁舎であり、いま考える最高の基準で作ったものです。順調にいけば、再来年1月に新庁舎オープンの予定です。持続可能な社会のために環境にやさしく、いざというために災害に強く、八潮に住まう、働く、すべての多様な方々と行政が相互理解のもと、目的を共有しまちづくりを進めていく、共生協働の場となる、まさに「住みやすさナンバー1のまち」を体現したものになると思います。

新庁舎を契機にハード面のみならずソフト面の強化も進めていきます。市民の方が利用しやすい環境を整えるだけでなく、職員の働き方、ワークライフバランスの課題にも取り組んでまいります。

北部の振興、MaaSのまちづくり、 八潮の50周年を契機に新たな段階へ

昨年もお報告した北部の振興は、引き続き着々と進めております。北部地区は、将来を見据え乱開発とならないように地区計画を進めています。外環自動車道の休息施設として東日本高速道路(通称・NEXCO東日本)が八条地内で整備を進める「(仮称)八潮パーキングエリア」に接続を計画している「(仮称)外環八潮スマートインターチェンジ」について、国土交通大臣より高速自動車道と八潮市道との連結が許可され、本年9月30日付けで新規事業化が決定しま



した(裏面参照)。スマートインターチェンジの設置により外環道へETCを搭載したすべての車両が24時間利用可能となります。これにより、周辺地域の交通利便性の向上、地域の産業活性化、救命救急体制の強化などの整備効果が期待されます。早期開通へ向け地元の皆様、関係機関のお力添えを賜りながら進めてまいります。ここを端緒に「道の駅」の構想やさらに新たな展開を考えています。県との連携を図りながら、国土交通省が先頭に立ち進めている「MaaS(マース)」を取り入れたまちづくりの検討を進めています。

MaaS(マース)とは、自動運転やAI、オープンデータ等を掛け合わせ、従来型の交通移動手段(バスやタクシー)にシェアリングサービスも統合して次世代の交通を生み出す考え方です。超高齢化社会に直面する課題として、移動手段をどう確保するか。移動の効率化により交通渋滞や環境問題、交通弱者対策の問題の解決に役立てようとするものです。安全で持続可能かつ容易に利用できる輸送システムをいち早く八潮で取り入れることができないか、国、県とも連携して検討を進めてまいります。

令和4年1月15日に八潮市は市制50周年を迎えました。新型コロナウイルスの影響から、3月27日に予定していた八潮市制施行50周年記念式典の開催は中止となりました。市政の発展に貢献して頂いた企業・団体、個人の皆様には記念表彰として感謝状と記念品をお渡しただけとなってしまったことは残念ではありません。ここまで発展を遂げられたのも、市民の皆様をはじめとする多くの方々の賜物であり、深く感謝申し上げます。

市制50周年を迎えた八潮市、私は、その歴史を振り返り、先人の皆様のご功労に思いをいたすとともに、これからも持続可能で「住みやすさナンバー1のまち」へとさらに前へ進めていく決意です。

八潮市長 大山しのぶ

大山忍(おおやま・しのぶ)プロフィール ●昭和32年6月5日 八潮市八潮生まれ(65歳) ●八潮町立第三小学校(現・八潮市立八幡小学校)～草加市立高砂小、私立早稲田中学・早稲田高校を経て、成蹊大学工学部卒 ●大学卒業後、機械メーカーでサラリーマン～国会議員秘書経験12年 ●平成9年八潮に戻り、家業の農業を継ぐ ●平成12年、埼玉県議会議員に初当選(4期連続当選) ●平成25年9月8日の八潮市長選挙に立候補。1万9717票をいただき、八潮市長に初当選 ●平成29年9月3日、無投票で2期目当選 ●令和3年9月5日、1万9332票をいただき、3期目当選

2023年の新年報告会は中止します

新型コロナウイルスの感染拡大防止のためです。ご理解をよろしくお願いいたします。

新型コロナ
ウイルス
最新情報はコチラ

首相官邸



埼玉県



八潮市





2022年活動ダイジェスト

2022年は、前年に引き続き新型コロナ対策に大きなウエイトを置かざるを得ない社会状況が続きました。そんな中でも八潮市政は、大山市長のリーダーシップのもと、着実に進展しました。市政50周年を迎え、新市庁舎建設も大きく進み、来年への期待が盛り上がります。大山市長はこれからも八潮市に暮らし、集うすべての皆様が、自分らしく生きられる地域社会を実現し、「住みやすさナンバー1のまち八潮」に向けて、全力で取り組んでまいります。

北部発展に 大きな期待！

(仮称)外環八潮スマート IC新規事業化決定

令和4年9月30日、国土交通大臣より高速自動車国道と八潮市道との連結が許可され、(仮称)外環八潮スマートICの新規事業化の決定が発表されました。これを受けて令和4年10月20日、市役所で、(仮称)外環八潮スマートIC連結許可書の伝達式が開催されました。

スマートICの整備により、周辺地域の交通利便性の向上や、地域産業の活性化など様々な整備効果が期待され、八潮市のみならず県東南部の更なる発展に寄与する重要な施設となります。

本事業の実現に向けて地域や関係機関の皆様と連携し、早期の開通を目指して引き続き全力で取り組んでまいります。



(仮称)外環八潮スマートIC連結許可書の伝達式

安心・安全・ おいしい・楽しい！

「八潮市学校給食 ビジョン」の中間報告

令和2年6月26日、八潮市の学校給食において食中毒事故が発生し、多くの児童生徒・教職員が健康被害を受けました。改めて深くお詫び申し上げます。事故を受け、現在、衛生管理の徹底と食育の充実に取り組んでいます。

今後は、将来にわたり持続可能な学校給食の在るべき姿について、学校給食の提供の在り方も含め、「八潮市学校給食ビジョン」の策定を進めており、令和4年11月30日に中間報告をさせていただいたところです。

学校給食は、安全・安心であることは大前提であり、将来の八潮を支える人材となる子どもたち一人ひとりが「おいしいな」と思えるような食事を目指していく必要があります。ビジョンの最終報告の策定に向けて市長として、教育委員会と協力しながら一緒に取り組んでまいります。



質の高い 教育環境づくり！

新設小学校 基本設計が完了

近年、八潮市の南部地区においては、八潮駅周辺の住環境整備の進捗による児童数の増加に伴う教室不足に対応するため、「新設小学校建設基本構想・基本計画」に基づき、令和8年度に新設小学校の開校を予定しており、このたび基本設計が完了しました。新設校は、「ひと・自然にやさしい、光と風にあふれる開かれた学び舎」をメインコンセプトとし、「光庭・吹抜」による自然採光・自然通風を取り入れた快適な学校生活の場を整備するとともに、本市の学校施設で初の取組となる「オープンスペース」を設置し、多様な学習形態に対応できる環境整備を計画しております。

引き続き、八潮市は将来の八潮を担う人づくりに努めてまいります。



新設小学校のイメージパース

お母さんたちを さらに応援！

(短期入所型、居宅訪問型) 産後ケア事業の実施

産後の母親の身体的回復と心理的安定を促進するとともに、母親自身のセルフケア能力や母子の愛着形成を促し、母子とその家族が健やかな育児ができるよう、助産師等の専門職による支援を行う産後ケア事業を令和4年4月より開始しました。

産後ケア施設への宿泊が可能な短期入所型と、助産師等による継続的な居宅への訪問によるフォローの居宅訪問型を設けました。

このような取組を通じて、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行い、安心して子育てできる環境の充実を目指してまいります。



連携している短期入所型施設

学び・憩い・交流 のために！

りらーと八幡 (図書館・公民館)オープン

建設から37年以上が経過し、建物の老朽化が進行していた八幡図書館・公民館の大規模改修工事を実施、令和4年4月から「りらーと八幡」としてリニューアルオープンいたしました。

改修により、館内全体が明るく開放的な空間となり、おむつ交換コーナー、授乳室を新設するなど、子育て世代の皆さんが気軽に利用していただける施設として一新しました。

また、フリースペースの設置やトイレのバリアフリー化により、幅広い世代の方々が利用しやすい施設になりました。これから「学びの場」「憩いの場」「交流の場」として是非、ご利用下さい。



りらーと八幡の明るい内部

夜間も明るい 防犯のまちに

葛西用水沿いに LEDライト設置

八潮市では夜間の道路を明るくすることで犯罪の抑止に繋げるため、道路照明灯及び防犯灯の明かりを補完する「一戸一灯運動」を促進しています。

この運動を各家庭で簡単に取り組んでいただけるよう、一般家庭でも設置が容易なソーラー充電式LEDライトを、散歩やウォーキングなど多くの人が歩いている葛西用水沿いのフェンスに実験的に設置しました。

今後は、町会自治会と協力して照明が必要な通りを選定し、設置をお願いする予定です。計画的に取り組むことで市が管理する道路照明灯のLED化率を高めると同時に、交通安全対策や明るいまちづくりを推進してまいります。



フェンスに取り付けられたLEDライト

大山しのぶ
事務所

埼玉県八潮市八潮2-18-8 パークアヴェニューK
TEL.048-994-6000 FAX.048-994-6001

最新情報は
WEBで！

ホーム
ページ
公式
ブログ

<http://www.s-oyama.jp/>
<http://ameblo.jp/oyama-shinobu/>